

高校総体駅伝競技を観戦して

校長 城 美博

令和4年も、残り1カ月余りとなりました。気が付けば立冬（11月7日）、小雪（11月22日）も過ぎ、校長室の窓からは冬の風景が見え始めています。つい先日、体育大会や文化祭が終わったと思っていたのに、時の流れは無情にも人を置き去りにしてしまいます。

さて、去る11月2日（水）、私は雲仙市小浜町で開催された長崎県高等学校総合体育大会駅伝競技を現地で観戦いたしました。実はこのレース、一昨年度ロード（公道）で実施された大会で、選手に車両が接触するという事故が発生し、その影響で昨年度はトランスコスモススタジアムの周回コースで実施されました。今年度は、安全性について再度検討・徹底し、再びロードでの開催にこぎつけました。ただ、もし再度同様の事故が発生したらそのダメージは計り知れないもので、主催者の緊張感は相当なものでありました。

そんなレースを観戦する中で、いくつかのことに気が付きました。まず、沿道につめかけた地元の皆さんの温かい声援です。沿道には近隣の幼稚園の子どもたちから、お年寄りなど地元の皆さんが数多く応援に出てくれていました。保護者の皆さんやチームメイトに加え、そんな人々の温かい声援が、どれだけ選手たちの力になったことでしょう。苦しそうに走っている選手の足取りが、幼稚園の子どもたちの可愛い声援で、力強くなったように私には見えました。

次に、この大会が実に多くの人たちの力によって支えられているという事実です。参加する選手や監督、サポートメンバーはもとより、選手の先導や交通規制に当たっている警察関係の皆さん、大会運営に全面的に協力してくれた地元小浜高校の皆さん、競技の様子を詳細に伝える報道関係の皆さん、バスなどで選手の送迎に携わる交通機関の皆さんなど、目にする場面全において、スタッフの皆さんの動きが実に見事で、このような大会は選手という主役のほかに、多くの裏方に回った人たちが、がっちりと脇を固めているからこそ開催できるということを、再確認いたしました。

そして最後に感じたのは、新型コロナウイルス感染症禍にあっても、通常の形態で社会活動を行うことができるという確信です。感染拡大防止を徹底しながら様々な行事等を実施できることを、私たちは学校内外で経験していますが、私はこの高総体の駅伝レースの観戦を通して、基本的な感染防止策を講じることによって、ほぼすべてのことが普通に、そして確実に実施できると改めて強く感じたのです。

最後になりましたが、わが佐世保西高校の男女駅伝チームは、懸命の走りを見せ健闘してくれました。その力走は、私に力を与えてくれました。本当にお疲れ様でした。

校内マラソン大会

11月8日（火）、相浦の陸上競技場周回コースで、第29回校内マラソン大会が行われました。昨年は悪天候のため、男女同時スタート、距離も同じ6kmでの実施になりましたが、今年は、女子6km、男子10kmと従来の距離での開催となりました。体育大会後から体育の時間に取り組んできた持久走の成果を発揮し、生徒一人ひとりが自分のペースを守りながら、1つでも前の順位へ、1秒でも早くゴールしようと必死になって取り組んでくれました。早朝からの準備、終了後のあとかたづけを手伝ってくれた運動部の諸君、それに加えて今年は運動部以外の生徒も積極的にお手伝いをしてくれ、大会を裏から支えてくれました。また育友会の皆様の温かいご支援を頂きました。ありがとうございました。コロナ禍で、本来の外周コースでの実施が3年連続でできていませんが、来年こそは通常の開催ができるようコロナの終息を願っています。（体育科）

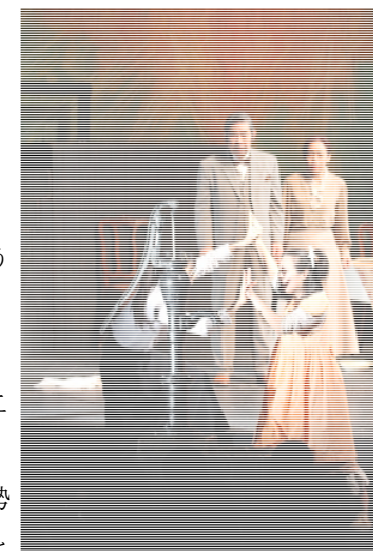


芸術鑑賞会

10月27日（木）本校体育館にて、芸術鑑賞会が行われました。

今年は久しぶりに3学年そろった形で、劇団「風」の皆さんによる『ヘレン・ケラー ～ひびき合う者たち』を鑑賞しました。これは、1995年の初演以来全国の中学校・高等学校で1,500ステージを超える上演回数の作品で、本校でも平成16年度以来の公演となりました。ヘレン・ケラーとアニー・サリバンとの間に生まれた通じ合う心の波は、鑑賞した生徒全員にきっと伝わったことと思います。

生徒たちからは、「今日の演劇を通して、無理と思ったものを最初から『できない』と判断するのではなく、誰も思いつかないようなことだとしても挑戦することはすごく大事なことで気づきました。」とか「サリヴァン先生のどんなことが起こっても決して諦めない姿勢だけでなく自分やヘレンの限界を決めないという点が人間の生き様として尊敬できると思いました。」との感想が聞かれました。また、鑑賞中の生徒たちの真剣な姿はもちろんですが、公演終了後に1・2年生の生徒会執行部及び西高祭実行委員の生徒たちが、撤収作業に真摯に取り組む姿に劇団員の方々から感動と感謝の声をいただき、改めて西高生を本当に誇らしく思った次第でした。（生徒会）



課題研究講演会（文系）

11月17日（木）5～7校時に課題研究講演会（文系）を実施しました。オンラインで5大学、対面で1大学の先生に講師をしていただき、探究学習の進め方や専門分野（心理学・外国語学・経済学・教育学・政治学・スポーツ科学）についてのお話を聞くことができました。

今年度後期は自分の興味・関心のある分野に分かれて自ら探究テーマを設定し、問題の解決を図る個人探究学習に挑戦しています。事前に探究計画を作成し、各個人の計画書についても今回アドバイスをいただくことができました。今回のご指摘を受け計画を練り直し、今後の活動につなげていきたいと思ひます。（2年探究）



写真（左）は帝京大学福岡医療技術学部の先生からストレッチの方法について指導を受ける様子。体のしくみについて実技指導を受けた。

課題研究フィールドワーク（理系）

11月17日（木）、午後から課題研究フィールドワークを行いました。理系の今回の連携先は、佐世保エコラボ、深海商店、長崎県立大学看護栄養学部、長崎国際大学薬学部、長崎総合科学大学総合情報学部、長崎大学医学部保健学科、長崎大学工学部、長崎大学情報データ科学部です。今回の訪問では、理系の学問分野の基礎を学ぶことを目的とし、実際に高いレベルで行われている研究を目にする機会となりました。

理系課題研究は、今後個人レベルで自分自身の進路希望に沿った課題研究を進めていきます。高校の授業だけでは体験できない大学の研究室を見学したことで、研究とは何か、どのようなことを研究して行こうかと考える機会になったようです。

写真の1つ目は、長崎大学情報データ科学部でVRを体験しているものです。別室にいる2人がVRを通して話をすることや、VRを通した平和学習の一端を研究させていただきました。

2つ目の写真は、長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科で、運動整理学の実験で、歩行中と走行中の呼気を回収することで、脂肪燃焼のあり方を計算することを行いました。大変興味深く熱心に学ぶことができました。（2年探究）



写真1



写真2

主な試合などの結果

<陸上部>

○令和4年度長崎県高校総合体育大会駅伝競走大会 男子20位、女子14位

○JOC ジュニアオリンピックカップ第16回U18 陸上競技大会

男子100m 第8位 2年 中川穂泉

<女子卓球部>

○令和4年度長崎県高等学校新人体育大会卓球競技大会地区予選会

女子団体 準優勝

<女子弓道部>

○令和4年度佐世保市民体育祭

女子団体 準優勝 佐世保西高校A 第3位 佐世保西高校B

男子団体 第3位 佐世保西高校A

男子個人 準優勝 2年 浦郁真



<美術部>

○第67回長崎県美術展覧会 入選 デザインの部 2年 林 美月

○令和4年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】

現代アート部門（映像） 優秀賞 1年 関東紘明

絵画部門 優良賞 2年 安竹七海

デザイン部門 優良賞 2年 中里遙人

1年 藤崎結依

○「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

啓発ロゴマーク・キャラクターデザイン 感謝状（優秀賞）



<図書文芸部>

○令和4年度長崎県高等学校総合文化祭【文芸部門】

部誌部門 佳作 代表 2年 田中天翔、詩部門 佳作 3年 江山綾彩

短歌部門 優秀賞 1年 濱村真実（令和5年度九州総文祭出場決定）

《12月の行事予定》

1	(木)	定期考査（～6日）
6	(火)	定期考査最終日・部室棟清掃
7	(水)	採点・評価日
10	(土)	プレテスト（～11日 3年）
13	(火)	研修旅行（～16日 2年）
17	(土)	県一斉（1・2年） プレテスト（～18日 3年）
23	(金)	授業中断日
26	(月)	冬季講座（全学年 ～27日）
28	(水)	プレテスト（～29日 3年）

